

(案)

第4次国有林野施業実施計画書

(奥久慈森林計画区)

自 平成23年4月 1日
計画期間
至 平成28年3月31日

関東森林管理局

目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等	1
(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積	2
(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
(6) 伐採総量	4
(7) 更新総量	5
(8) 保育総量	5
3 林道の整備に関する事項	6
4 治山に関する事項	9
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
(1) 保護林の名称及び区域	10
(2) 緑の回廊の名称及び区域	10
6 レクリエーションの森の名称及び区域	11
7 その他必要な事項	13
(1) 施業指標林、試験地等	13
(2) フィールドの提供	14
(3) その他	15

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢：年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	1,721.01	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	3,095.29	〃	45
ヒノキ長伐期	984.87	〃	80
ヒノキ分散伐区	1,439.03	〃	50
ヒノキ枝打分散伐区	1,421.09	伐採面積の縮小、モザイク的配置、照度の確保	50
アカマツ長伐期	1,102.81	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
アカマツ分散伐区	—	—	—
カラマツ長伐期	—	—	—
カラマツ分散伐区	—	—	—
スギ複層林	2,175.59	水源かん養機能に配慮した非皆伐	45～90
ヒノキ複層林	409.08	〃	50～100
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ分散伐区	601.77	伐採面積の縮小、モザイク的配置	50
ぼう芽分散伐区	1,691.82	〃	25
天然林漸伐分散伐区	673.90	伐採面積の縮小、モザイク的配置、確実な更新	60
ブナ漸伐分散伐区	—	—	—
択伐	598.87	(注) 1による	回帰年は定めない
その他	169.01	(注) 2による	定めない
施業群設定外	—	—	—
合計	16,084.14		

(注) 1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘 要
スギ長伐期	108	
スギ分散伐区	344	
ヒノキ長伐期	62	
ヒノキ分散伐区	144	
ヒノキ枝打分散伐区	142	
アカマツ長伐期	69	
アカマツ分散伐区	—	
カラマツ長伐期	—	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	242	
ヒノキ複層林	41	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	60	
ぼう芽分散伐区	338	
天然林漸伐分散伐区	56	
ブナ漸伐分散伐区	—	
択伐	60	
その他	17	
施業群設定外	—	
合計	1,683	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積ha、伐期齢：年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ大径材	—		
スギ中径材	1,224.72	一般建築材(22cm)	45
ヒノキ大径材	—		
ヒノキ中径材	314.48	一般建築材(22cm)	50
ヒノキ無節柱材	7.93	芯持柱材(22cm)	50
アカマツ大径材	—		
アカマツ中径材	194.48	一般建築材(24cm)	50
カラマツ大径材	—		
カラマツ中径材	—		
スギ複層林	2.94		45～90
ヒノキ複層林	—		
その他複層林	—		
天然生アカマツ中径材	—		
ぼう芽	436.03	しいたけ原木(8～12cm)	25
天然林漸伐	9.02	家具・木工・加工用材(20cm、上木30cm)	60
ブナ漸伐	—		
択伐	10.56	家具・木工・加工用材(30cm)	回帰年は定めない
その他	1.97		
生産群設定外	—		
合計	2,202.13		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、生産目標に対応する期待径級に達した後に隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当計画区の「資源の循環利用林」は、分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

(6) 伐採総量

(単位：材積m³)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
水 土 源 か ん 養 タ イ プ 林	国土保全タイプ	—	1,452 (15.27)	1,452	16,200	333,880	—	333,880
	スギ長伐期	—	67,500	67,500				
		スギ分散伐区	—	92,791				
	ヒノキ長伐期	—	12,495	12,495				
		ヒノキ分散伐区	—	16,414				
	ヒノキ枝打分散伐区	—	20,217	20,217				
	アカマツ長伐期	—	22,702	22,702				
	スギ複層林	27,549	40,042	67,591				
	ヒノキ複層林	—	6,009	6,009				
	天然生アカマツ分散伐区	—	676	676				
	ぼう芽分散伐区	—	—	—				
	天然林漸伐分散伐区	4,747	965	5,712				
	択 伐	2,334	56	2,390				
	そ の 他	—	1,420	1,420				
	小 計	34,630	281,287 (3,335.15)	315,917				
計	34,630	282,739 (3,350.42)	317,369					
森 林 と 共 人 生 と 林 の	自然維持タイプ	—	—	—				
	森林空間利用タイプ	—	311	311				
	計	—	311	311				
資 源 の 循 環 利 用 林	スギ中径材	81,696	1,491	83,187	5,600	116,942	—	116,942
	ヒノキ中径材	10,096	537	10,633				
	ヒノキ無節柱材	—	—	—				
	アカマツ中径材	13,221	1,054	14,275				
	スギ複層林	—	—	—				
	ぼう芽	3,247	—	3,247				
	天然林漸伐	—	—	—				
	択 伐	—	—	—				
計	108,260	3,082 (44.55)	111,342					
合 計	142,890	286,132 (3,399.40)	429,022	21,800	450,822	—	450,822	
年 平 均	28,578	57,226 (679.88)	85,804	4,360	90,164	—	90,164	

(注) () は、間伐面積 (ha) である。

(7) 更新総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成	0.16	129.70	129.86	—	—	—	334.57	464.43
	複 層 林 造 成	—	166.07	166.07	—	—	—	—	166.07
	計	0.16	295.77	295.93	—	—	—	334.57	630.50
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	1.73	66.84	68.57	—	—	—	—	68.57
	ぼう 芽	—	—	—	—	—	—	96.65	96.65
	計	1.73	66.84	68.57	—	—	—	96.65	165.22
合 計		1.89	362.61	364.50	—	—	—	431.22	795.72

(8) 保育総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下 刈	6	1,511	1,517	—	—	—	1,221	2,738
	つる切	1	280	281	—	—	—	2	283
	除 伐	1	520	521	—	—	—	3	524
	枝 打	—	—	—	—	—	—	—	—

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	開設	鬼ヶ頬・鎌田(鎌田)	50外	2,000	
		ヤギ沢	81	400	
	小計		2路線	2,400	
その他	開設	白子川	14外	1,000	
		小中沢	16	1,000	
		久慈川林道久慈川支線	18外	2,500	
		中之沢入	22外	1,500	
		日山沢	33	1,500	
		八溝川	56外	2,500	
		地の平	62外	2,500	
		高笹山	63	700	
		宝地	68外	1,000	
		コブノ川	79外	1,000	
		ミハノリ沢	77外	1,000	
		高野谷地	67	1,000	
		矢殿	88外	1,000	
		石堀子林道石堀子支線	103外	1,000	
		立石	99	500	
		オカスノ沢	97	1,000	
		田代	112	1,000	
		遠ヶ竜	266	1,000	
		黒下	111	960	
小計		19路線	23,660		

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	旗宿・金山 (伊香沢)	1	300	C B 横断溝 舗装工外
		大 森	13	500	
		茗 荷 (鹿 又)	27	400	
		鬼ヶ類・鎌田 (鬼ヶ類)	32	600	
		鬼ヶ類・鎌田 (鎌田)	48	600	
		追 分	74	400	
		ヤギ沢 (千泥)	81	100	
		大 平	94	200	
		ヤギ沢 (追分)	76	300	
		茗 荷 (茗 荷)	58	500	
	桶 地	70	200		
	小 計		1 1 路線	4, 100	
そ の 他	改 良	不 動 沢	1	200	
		高 内	4外	300	
		戸 中	5外	400	
		厨 川	7外	300	
		白 子 川	13外	500	
		小 太 郎 沢	32外	100	
		中 ノ 沢	20外	100	
		極 楽 沢	30外	200	
		畑 の 沢	51外	300	
		茗荷林道茗荷支線	57外	200	
		茗荷林道茗荷支線 茗荷分線	57外	300	
		片 貝	91外	200	
		石 堀 子	98外	200	
		高 笹 山	62外	400	
		越 虫	115外	200	
		草 木	271外	200	
		青 生 野	125外	200	
		唐 露	258外	200	

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	改 良	樺 沢	11外	100	C B 横断溝 舗装工外
		樺 沢 林 道 樺 沢 支 線	11外	100	
		厨 川 林 道 厨 川 支 線	9外	400	
		北 沢	53外	100	
		折 籠	100	200	
		井 堀	121	100	
	小 計		2 4 路 線	5, 500	
合 計	開 設		2 1 路 線	26, 060	
	改 良		3 5 路 線	9, 600	

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
3、4、5、7、8、9、10、11、13、23、 24、25、26、27、51、52、53、54、55、 56、57、58、59、60、61、62、63、64、 65、66、68、70、71、72、74、75、76、 77、78、79、88、89、90、91、92、93、 94、114、115、116、117、118、120、 121、122、123、124、125、126、127、 128、129、256、258、266、267、268、 269、270、271、272、273	保安林の整備	そ の 他	1,200 ha
13、29、30、33、34、35、46	保 安 施 設	溪 間 工	5 箇所
11、33、57		山 腹 工	3 箇所
合 計	保安林の整備		1,200 ha
	保 安 施 設		8 箇所

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区には、林木の遺伝資源の保存を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	既 設 ・ 新 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
林木遺伝資源 保 存 林	八溝山アカシ デ・ケヤキ	既 設	43.59	60と	八溝山の東面に存在する天然アカシデ、ケヤキ林の保存を図る。 アカシデは若齢個体が生育しているほか、ケヤキの生育状況も良好であり、引き続き、現状が維持できるよう管理することとする。
計			43.59		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
森林スポーツ林	山本不動	既設	64.35	不動滝と、急峻な峰筋にそびえるマツの景観が優れており、自然探勝、キャンプ等に利用されている。 今後も、利用者の安全に配慮して、巡視の強化に努めることとする。	36ち	育成複層林施業
					36い、へ、と、り～わ 38ほ～ち	天然生林施業
					36イ、ロ 38イ～ロ ₂	林地以外
森林スポーツ林計			64.35			
風景林	奥久慈	既設	46.31	久慈川源流部と八溝山を連結する県道真名畑八溝線の近景林として道路沿線を囲み、来訪者に美しい自然景観を提供している。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	15た 16ぬ 16か 27こ、ほ	育成複層林施業
					15ち～る、か、よ、れ、そ 16は～ほ、よ、た 27ろ、は 28い、ろ 31む ₂ 、む ₃	天然生林施業
					15イ 31イ	林地以外
風景林	八溝	既設	138.72	八溝山は、付近にブナやミズナラの広葉樹林が広がり、八溝山頂にある八溝神社を訪れる参拝者や観光客等が多数訪れる国有林であることから、景観の維持及び、利用者の安全に配慮して、巡視の強化に努めることとする。	24り ₂ 、ぬ 25に、か、つ 26へ ₄ 54ぬ ₃ 60ち、り	育成複層林施業
					24り ₁ 25は、わ ₁ 、わ ₂ 、れ、そ 26そ ₈ 54る ₂ 、る ₃ 、わ ₂ ～わ ₄ 55ね、か	天然生林施業
					25イ ₁ 、イ ₂ 54イ ₁ ～ロ ₅	林地以外
風景林計			185.03			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
その他	ふれあいの森林園地	既設	3.57		10わ	天然生林施業
					10イ 11ロ、ハ	林地以外
その他	埴町自然体験の森	既設	4.98		85に ₂ 86る ₂	育成複層林施業
					86る ₄	天然生林施業
その他計			8.55			
合計			257.93			

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	那須道 A 種 収穫試験地	S13.2	3.92	13ち	成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集し、林分構造の推移を解明 (ヒノキ)
	ヒノキ育成 天然林施業の 検証試験地	H11.4	1.76	9た _{1,2}	天然下種により更新したヒノキ林分について、現地の実態に応じた効率的な保育方法の試験及び研究
	巻き枯らしによる 間伐効果の 検証試験地	H14.4	20.26	13と ₄ 、と ₅ と ₉ 〜と ₁₂	初期の保育間伐の作業効率向上と労働力の軽減を図るとともに、健全な森林育成のための施業方法としての巻枯し効果を検証
試験地計			25.94		
展示林	ヒノキ展示林	S55.4	6.41	13ろ ₇	明治期の植栽以降、間伐等の施業を適切に行った高齢級ヒノキ人工林を長期的に存置し、森林施業の研修・広報等に利用
	針広混交複層林 施業展示林	H16.4	4.88	18い ₃	スギ人工林の間伐後、下木に広葉樹を植栽して複層林施業を実施した林分を長期的に存置し、森林施業の研修・広報等に利用
	景観保全林試験地 展示林	H16.4	7.54	22い	景観への配慮のため、スギ人工林の間伐とともに、広葉樹を保残・育成した林分であり、森林施業の研修・広報等に利用
	自然植生導入 展示林	H16.4	2.99	31つ ₂	間伐等の施業コスト軽減のため、当初から、将来的に期待される収穫本数を植栽した林分を展示
	複層林施業展示林	H16.4	8.60	49こ ₁	民有林における複層林施業導入の促進・定着を図るため、森林施業の研修・広報等に利用
展示林計			30.42		

種 類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	一般検定林 (関前第21号)	S49.5	0.61	59り ₁	遺伝的生産能力の検定 (スギ)
	一般検定林 (関前第37号)	S51.4	1.35	74よ ₄ 、よ ₅	遺伝的生産能力の検定 (アカマツ)
	地域差検定林 (関前第22号)	S49.5	0.46	59り ₂	精英樹種苗の生育に適した区域の 選定 (スギ)
	遺伝検定林 (関前第25号)	S49.5	0.63	59り ₃	形質に関する遺伝的特性を解明 (ヒノキ)
	遺伝検定林 (関前第55号)	S57.5	1.10	258に ₃	形質に関する遺伝的特性を解明 (スギ)
	抵抗性検定林 (耐寒風前橋9号)	S60.4	1.16	116ほ ₂ 、ほ ₃	気象の害に対する抵抗性品種の創 出 (スギ)
	育成集団林プロジェクト (関前第73号)	H11.4	0.68	58ろ ₄	第二世代品種としての検定・選抜 (スギ育種集団林)
	育成集団林プロジェクト (関前第74号)	H12.5	0.78	20は ₆	第二世代品種としての検定・選抜 (スギ育種集団林)
次 代 検 定 林 計			6.77		
合 計			63.13		

(2) フィールドの提供

位置 (林小班)	設定の目的	名 称	面 積(ha)	協 定 団 体
52に ₉	遊々の森	いずみの森	0.42	埴町、久慈川水系環境保全協議会
94ろ	〃	矢塚希望の森	1.55	埴町
119ち、り	〃	さえずりの森	8.12	鮫川村

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
85 に ₁ 、ほ〜と ₃ 、る ₂ 〜る ₄ 、れ、そ ₂ 、ね、な 86 る ₁	208.93	育成複層林施業
84 る ₁ 、る ₂ 85 ち〜る ₁ 、わ〜た ₅ 、そ ₁ 、つ 86 る ₃		天然生林施業
計	208.93	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。